ITU-R RA-12（2012年無線通信総会）の結果概要

１．概要

日時：　平成24年1月16日（月）～20日（金）
場所：　スイス（ジュネーブ）
参加者：102か国から500名超が参加。日本からは、総務省、民間事業者など28名が参加

２．ITU-R SG5からRA-12に提出されたITU-R勧告案（SG5関係）について

以下の4件のITU-R勧告案が承認された。

・ITU-R新勧告案M.[IMT.RSPEC]
IMT-Advanced(第４世代移動通信システム)の詳細無線インターフェース

LTEを基本技術とするLTE-Advanced及びWiMAXを基本技術とするWirelessMAN-Advancedの２つの無線方式が採択。

・ITU-R新勧告案M.[CHARLIE]
1 GHz周辺で運用する非ICAO ARNSシステムの技術特性及び保護基準

両立性研究について、本文書のAnnexにおける特性及び保護基準が使用されるべきであることを勧告している。

・ITU-R勧告M.585-5改訂案
海上移動業務における識別の割当及び使用

特別の目的のため他の海上装置で使用される海上識別はAnnex 2で特定されるように割り当てられるべきであることなどを勧告している。

・ITU-R新勧告案F.[HAPS GATEWAY]
5850-7075MHz帯における高高度プラットフォーム（HAPS）の固定サービスリンクから既存固定無線システムへの干渉の評価

6GHz帯域におけるHAPSゲートウェイシステムと固定業務の共用の検討を行うもの。

３．SG5の議長・副議長について

議長について、橋本明氏（NTTドコモ）が再任した。
副議長について、7名が退任、8名が新たに就任した（1増）。

議長	Mr. Akira HASHIMOTO	（NTTドコモ）	
副議長	M. El Hadjar ABDOURAMANE	（カメルーン）	新
副議長	Mr. Ali AL-AMRI	（サウジアラビア）	新
副議長	Mr. Long BUI HA	（ベトナム）	新
副議長	Mr. Ricardo CASTAÑEDA ALVAREZ	（メキシコ）	新
副議長	Mr. José M. COSTA	（カナダ）	
副議長	Mr. Martin FENTON	（イギリス）	新
副議長	Mr. Alexander KLYUCHAREV	（ロシア）	
副議長	Mr. Gerlof OSINGA	（オランダ）	新
副議長	Mr. Wael SAYED	（エジプト）	新
副議長	Mr. Ibrahima Kenda SOUARE	（ギニア）	新
副議長	Mr. Lixin SUN	（中国）	

４．SG5の構成について

今回、ITU-R SGの構成は見直されなかった。

平成24年1月23日

国際電気通信連合(ITU)無線通信総会(RA-12)の結果

平成24年1月16日(月)から20日(金)まで、スイス(ジュネーブ)において、国際電気通信連合(ITU)無線通信総会(RA-12)が開催されました。

無線通信の方式や共用条件などの勧告の承認、次期研究会期の研究課題の承認、研究体制及び作業手続きの審議が行われ、第4世代移動通信システムの無線インターフェースの勧告などが採択されました。

1 日時等

日　時:平成24年1月16日(月)から20日(金)

開催場所:スイス・ジュネーブ国際会議場

参加国:102か国の情報通信関係省庁、電気通信事業者、メーカーなど506名が参加。日本からは、総務省、電気通信事業者を始め28名が参加

2 主な結果

1. 研究委員会(SG)から提出された勧告案の承認

3件の新規勧告、1件の改訂勧告が承認されました。主な勧告は以下のとおりです。

(1) 第4世代移動通信システム(IMT-Advanced)の詳細無線インターフェースに関する新規勧告

1Gbpsの高速通信を実現する第4世代移動通信システムの無線インターフェースを定める新規勧告において、携帯電話の方式を基本とした「LTE-Advanced」及び無線LANの方式を基本とした「WirelessMAN-Advanced」の2つの方式が採用されました。

(2) 「うるう秒」の調整の廃止に関する改訂勧告

「うるう秒」による調整を廃止する改訂勧告案については、賛成、反対、本件についてさらに情報が必要であるとの3つの異なる意見が表明され、審議の結果、改訂勧告案は科学業務を担当するSG7に差し戻して検討を継続するとともに、1月23日から開催される世界無線通信会議(WRC)において、将来のWRCで検討することが提案される予定です。

2. SGから提出された決議案の承認

新規に6件の決議が承認されました。主な決議は以下のとおりです。

(1) コグニティブ無線システムの導入に向けた研究に関する新規決議

電波の利用ニーズの増大に伴う周波数のひっ迫に対応するため、電波の有効利用を可能とする技術であるコグニティブ無線システム(※)に関して、その技術条件などについて今後、無線通信部門(ITU-R)での研究を促進するための新規決議が承認されました。

※:コグニティブ無線システム:端末や基地局などが周囲の電波状況をチェックし、その状況に応じて、周波数や通信方式を変えて通信を行う技術

(2) 温室効果ガス削減のための無線通信デバイスの電力消費削減に関する新規決議

無線通信業務によって放出される温室効果ガスの削減に寄与するため、無線システム/アプリケーションの省エネルギー策の検討を求める新規決議が承認されました。

3. 次期研究会期における研究課題案の承認

次期研究会期(2012年～2015年)における各SGの191件の研究課題が承認されました。主な研究課題は以下のとおりです。

(1) スーパーハイビジョンに関する研究課題

我が国が先行している技術である、ハイビジョン放送(現在のHDTV)を超える超高精細度画像(スーパーハイビジョン)について、ハイビジョン放送よりも高い臨場感の実現方法、さまざまなアプリケーションとの調和、映像の制作・伝送・表示の基礎となる映像信号形式などの研究課題が引き続き承認されました。

(2) パワーグリッドマネジメントシステムに使用する無線/有線データ通信から既存無線通信への影響に関する研究課題

パワーグリッドマネジメントシステム(スマートグリッド)に使用する無線技術及び装置の特性、並びに当該システムから既存の無線通信に与える影響などの研究課題が引き続き承認されました。

4. SG議長・副議長の任命

我が国から推薦していた以下の3名全員が次期研究会期の議長及び副議長に任命されました。

- SG5(地上業務) 議　長　橋本　明(NTTドコモ)
- SG4(衛星業務) 副議長　河合　宣行(KDDI)
- SG6(放送業務) 副議長　西田　幸博(NHK)

3　今後の予定

総務省は、この結果を踏まえ、我が国の無線通信システムの発展、国際競争力強化に向けて努力するともに、国際標準化活動が円滑に行われるよう、引き続きITUへ積極的に貢献します。

関連報道資料：

・ 国際電気通信連合（ITU）無線通信総会（RA-12）及び世界無線通信会議（WRC-12）の開催（平成24年1月13日）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin04_02000021.html

連絡先：
情報通信国際戦略局通信規格課
（担当：橋本課長補佐、稲見国際標準係長）
電話：03－5253－5771
FAX：03－5253－5764